

編集後記：最近、京大大学生態学研究センターの教官3名が、メキシコのカルフォルニア湾で2名が事故死、1名が行方不明というニュースを聞いた。地球科学では、観測、とりわけ、海外の危険な地域での観測が必須である。むかしは、このような観測は探検か、冒険であった。そのような覚悟が無ければ、海外に展開する資金が得られなかった。その頃は、資金は不足したかもしれないが時間は豊富にあったと思われる。現在では、研究資金が豊富になり、院生も含めて簡単に海外の観測に参加できる。我々気象の分野でも、TOGA-

COARE, GAME と、多くの院生を海外に送り出した。このように多くの学生が海外観測に参加できる時代というのは良い時代だと思う。しかし、今回の事故の報を聞くに付け、今迄事故がなかった僥倖を感謝する気持ちになってくる。

「好事魔多し」という。「調子が良い時が最も危険な時」とも言う。昨今の我々の状況を考えるに付け、ここあたりで初心に帰り、細心の注意を全ての分野に向けて配る必要があると思う。

(注 明正)



## 一覧表

2000年度日本証券奨学財団研究調査助成の募集 .....	442
教員（東京家政大学）の公募 .....	474
研究員（国立環境研究所大気圏環境部）募集のお知らせ .....	480
第23回極域気水圏シンポジウムのお知らせ .....	483
第9回近畿・酸性雨講演会（京都）環境問題の中での酸性雨現象の枠組みのとりえ方 .....	485

## 「天気」編集委員会

編集委員長	新野 宏(理事)	地区編集委員	北海道	若原勝二・上田 博
編集委員	神沢 博(理事)・関口理郎(理事)		東北	小柴 厚・早坂忠裕
	藤部文昭(理事)・石田純一		関東	河原幹雄
	植田宏昭・大野滋規		中部	永尾一平・坪木和久
	小田切さやか・大淵 済		関西	和田高秀・山中大学
	木下 仁・小出 寛・小司禎教		九州	金崎 厚・中島健介
	住 明正・田口晶彦・高橋 宙		沖縄	仲大安英
	寺坂義幸・中村 尚・新村典子	編集書記	遠藤和子	
	板東恭子・別所康太郎・水野孝則			
	水野 量・山本 哲			